

第6学年竹組 道徳授業案

平成26年2月10日(月) 第2時限 6年竹組教室

1 主 題 「最後のおくり物」 2-(2) 思いやり・親切

2 主題について

高学年の指導内容2-(2)は、「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする」と示されている。相手の身になって考え、誰に対しても温かく接することは、よりよい人間関係や思いやりに満ちた集団を築くうえで大切である。真の信頼関係の基盤は、相手の立場に立てる、相手の身になって考えられるという思いやりである。

6年竹組の児童は明るく優しい児童が多い。困っている友達がいると男女関係なく助けあげたり、声をかけたりしている。しかし、中には自分は関係ないと知らん顔をしたり、もし自分がその子の立場だったら…と考えられず誰かが助けるだろうと見て見ぬふりをしたりする子もいる。そこで本資料の登場人物の思いや考えを共感的にとらえながら、相手の身になって考えるという思いやりの大切さを再認識させたい。

3 本時の授業(1/1時)

(1) ねらい

- 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に応じて親切にしようとする心情を育てる。

(2) 本時の評価規準

- ジョルジュじいさんの思いに気付いたロベエヌの気持ちを考えることを通して、相手の立場に立った思いやりある行動をしようとする気持ちを高める。

(3) 準備・資料

- 教師：場面絵、黒板貼付カード、道徳プリント、手紙とお札が入った封筒

(4) 過 程

学習課題 主な発問 _____言語活動に関する事項

| 段階 時間 | 学 習 活 動 | ・留意点 <input checked="" type="checkbox"/> 支援 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 道徳的価値との関連 |
|--------------------------------|---|--|
| 気 付 く 3 分 | 1 夢の実現のために必要な援助を申し出られたらどうするか考える。 ・ 知っている人なら有り難く使わせてもらう。 ・ 知らない人からだと使いたいけれど迷う。 | ・ 手紙と何枚かのお札が入った封筒を用意し、イメージを膨らませる。 |
| と ら え る 7 分 | 2 資料「最後のおくり物」の範読を聞く。 (1) 資料の内容をとらえる。 (2) 場面絵を見ながら、話の流れをつかむ。 | ・ 範読を聞いて資料の内容を理解させる。 ・ 場面絵を黒板に貼って、状況を具体的につかませる。 ・ 贈り物が届いたときと届かなくなったときのロベエヌの気持ちの変化に気付かせる。 |
| 深 め る | 3 資料「最後のおくり物」を読んでロベエヌの気持ちを考える。 (1) <u>「苦しくはなかったよ……」というジョルジュじいさんの言葉を聞いたときのロベエヌの気持ちについて話し合う。</u> | ・ ジョルジュじいさんの優しさに目を向けさせることで、思いやりの心を感じさせる。 |

| | | |
|-------------|---|--|
| | <p>「苦しくはなかったよ……」というジョルジュじいさんの言葉を聞いて、ロベータはどんなことを思ったのでしょうか。</p> | |
| 17分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ おじいさんは、体を壊してもぼくのことを思ってくれたんだ。 ・ おじいさんは、心の底から僕のことを応援してくれているんだな。 ・ 事情を知らなかったとはいえ、僕はお金を送ってもらえなくなったことを恨んでしまったなんて恥ずかしい。 <p>(2) <u>最後の手紙を読んだときのロベータの気持ちについて話し合う。</u></p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己犠牲を払ってまでも、自分を支援し続けてくれるジョルジュじいさんの心の温かさにふれたロベータの大きな感動に気付かせる。 ・ 道徳プリントを使い、自分の考えをまとめさせる。 |
| 17分 | <p>最後の手紙を読んで、ロベータはジョルジュじいさんから何をもらったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 優しさをもらった。 ・ 思いやりをもらった。 ・ ジョルジュじいさんの夢を与えてくれた。 ・ 相手を思いやることを教えてくれた。 ・ 自分の命を削ってぼくに真心をくれた。 | <p><input checked="" type="checkbox"/> 相手の立場に立って自分のできる限りの「思いやりの心」をくれたジョルジュじいさんの心について考えさせる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 想像することが難しい児童には、最後の手紙を読んだときのロベータの気持ちについて書くように声をかける。</p> |
| みつめる 14分 | <p>4 自分に置き換えて考える。</p> <p>自分がロベータだったらこれからどう生きていきますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 劇団の試験に合格するよう必死で頑張った。 ・ 辛くてもジョルジュじいさんのことを思い出してくじけずに努力した。 ・ 俳優になる夢を叶えて、自分と同じようにお金に困っている子どもに援助をした。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳プリントを使い、自分の考えをまとめさせる。 ・ ジョルジュじいさんの思いやりに気付かせ、自分自身の生き方や思いやりの在り方について考えさせる。 <p>誰に対しても思いやりの気持ちをもって接することの大切さに気付くことができたか。</p> |
| あたためる 4分 | <p>5 本時の内容に関連する教師の話聞く。</p> <p>(1) 「おもいやり算」について知る。</p> <p>(2) 具体的なVTRを見る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おもいやり算」についての話をし、具体的なVTRを見せ、思いをあたため、他人を思いやる生き方をしようとする気持ちを高めさせる。 |

4 反 省

5 高 評